

## 【2025年度 企画運営委員会 事業計画・自己評価・事業報告】

○目的 大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供」と柱「4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築」に向けて、以下の取組課題3点について、取り組む。

○委員校 【2025年4月～5月】委員長校：関西学院大学、副委員長校：神戸学院大学 【2025年6月～2026年3月】委員長校：神戸学院大学、副委員長校：関西学院大学  
 (全：11校) 委員校：関西国際大学、甲南大学、神戸大学、神戸松蔭大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、兵庫教育大学、兵庫県立大学、芸術文化観光専門職大学

### ○中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標/予算等

課題及び期待される効果	取組	達成目標	活動指標	予算(千円)
課題⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進 近年、加盟校においても取組が進む社会人教育に着目して、加盟校並びに産官学連携のネットワークを活用した「リカレント教育」の普及促進に寄与する。加盟校の特徴を活かしたりカレント教育の理解促進を図ることができる。	1. リカレント教育の普及促進に向けた取組	・各年参加者数50名以上	大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)	426 (受託事業収入)
	2. 加盟校のリカレント教育に関する情報発信	・各年10校以上		
課題⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成 定期的に加盟校の情報を収集することで、地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充、並びに、緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築ができる。	1. 大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築			
	1-1 「兵庫県」大学生等インターンシップ推進事業～テーマ型企业理解プログラム～	・大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充 ・参加者数50名以上/年	大学・企業関係者による意見交換会(年1回以上)	4,583 (受託事業収入)
	1-2 第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム			2,300
	2. 緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築			
	賛助会員と加盟校の懇親会、企業課題解決プログラム、リスクマネジメント等	・緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築 ・参加校・団体数 10校・団体以上/年	大学・企業関係者による意見交換会(年1回以上)	1,000
課題⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備 事業運営体制が整備されることで、同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進など、加盟校のニーズと実態に合わせた事業運営を実現できるようになる。加盟校が協働して大学間連携事業に取り組むことで、県内大学の活性化につながる。	1. 加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	・加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築 ・アンケートの実施1回以上/年	企画運営委員会等における懇談の実施(年10回以上)	500

【2025年度 企画運営委員会（⑧取組1・2）】リカレント教育の普及促進に向けた取組・加盟校のリカレント教育に関する情報発信

事業計画（4月記載）			自己評価（12月記載）			事業報告（3月記載）				
<p>兵庫県委託事業「令和7年リカレント教育推進事業」 委託期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>目的：2040年に向けた高等教育のグランドデザインでは、社会人を含む多様な学習者を受け入れるリカレント教育の充実が求められている。そこで、産官学連携による推進や教育体制の柔軟化を図り、県内大学の特色を生かした取り組みや実績を紹介することで、今後の展望を探る機会を設ける。 また、コンソのネットワークを活用し、大学教職員や企業の人事担当者の理解を深め、リカレント教育推進の機運を醸成するとともに、県内大学のリカレント講座の情報発信の強化を目指す。 受託・運営する業務内容は以下の通り。</p> <p>【取組1】リカレント教育促進に向けた機運醸成 ・リカレントフォーラムの実施 県内大学の教職員や企業の人事担当者を対象にリカレント教育の理解促進を図るための講演を行うとともに、企業のリカレント教育に関するニーズを把握するため、大学の教職員と企業人事担当者等との意見交換会を実施する。 開催時期：2025年8月～2026年3月予定（1回）</p> <p>【取組2】企業、受講希望者に対する情報発信 ・県内大学のリカレント講座のPR 県民や企業人事担当者を対象に県内大学のリカレント教育を紹介する。</p>			<p>兵庫県委託事業「令和7年リカレント教育推進事業」 委託期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>&lt;活動内容&gt; 【取組1】リカレント教育促進に向けた機運醸成 ・リカレントフォーラムの実施 「産・官・学でつなぐライフロングキャリア共創セッション及び情報交換会」 大学×企業の共創によるリカレント教育の新たな挑戦！</p> <p>卒業後も続くキャリアセンターの伴走支援 神戸女子大学の事例から知る ～「学び・相談・定着・転職」支援が一体となった教育プログラムとは～ の開催 ・開催日：2025年8月30日 ・参加企業数：16社26名 ・参加大学数：16校22名 ・参加行政数：2団体4名</p> <p>【取組2】企業、受講希望者に対する情報発信 ・県内大学のリカレント講座のPR 大学コンソーシアムひょうご神戸HPの「リカレントフェア 社会人が大学で学べるプログラム2025」サイトにて、加盟校のリカレント講座情報を発信した。 2025年度：掲載数26校44講座</p> <p>&lt;自己評価&gt; リカレントフォーラムでは、企業、大学、行政の多様な立場の参加者が意見交換を行い、大学と企業双方の課題やリカレント教育による課題解消の可能性を見出し、共有できた点は大きな成果である。また、リカレント講座情報の発信を通じて、地域や企業への大学におけるリカレント教育の認知向上に寄与した。今後は、国が推進する「学び直しによる人材育成」や「成長分野への人材移動促進」も視野にいれ、県内大学と企業が協働して、より持続的で実効性のあるリカレント教育の推進に寄与していきたい。</p>			<p>兵庫県委託事業「令和7年リカレント教育推進事業」 委託期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>&lt;活動内容&gt; 【取組1】リカレント教育促進に向けた機運醸成 ・リカレントフォーラムの実施 「産・官・学でつなぐライフロングキャリア共創セッション及び情報交換会」 大学×企業の共創によるリカレント教育の新たな挑戦！</p> <p>卒業後も続くキャリアセンターの伴走支援 神戸女子大学の事例から知る ～「学び・相談・定着・転職」支援が一体となった教育プログラムとは～ の開催 ・開催日：2025年8月30日 ・参加企業数：16社26名 ・参加大学数：16校22名 ・参加行政数：2団体4名</p> <p>【取組2】企業、受講希望者に対する情報発信 ・県内大学のリカレント講座のPR 大学コンソーシアムひょうご神戸HPの「リカレントフェア 社会人が大学で学べるプログラム2025」サイトにて、加盟校のリカレント講座情報を発信した。 2025年度：掲載数26校46講座</p> <p>&lt;報告&gt; 本年度は、全国コンソの開催に併せてリカレントフォーラムを実施することで、企業、大学、行政の様々な主体が参画し、双方の課題やリカレント教育による課題解消の可能性を具体的に共有できた。これは、地域における産官学連携の基盤を築く大きな成果と言える。また、継続的な情報発信により、県内大学のリカレント教育の認知向上にも一定の寄与を果たしたと考える。今後も、多様なステークホルダーと加盟校の連携をさらに深化させ、より持続的で実行性のあるリカレント教育の普及を推進していきたい。</p>				
<p>達成目標に対する実績 【達成目標】・各年参加者数50名以上 ・各年10校以上</p>			<p>【取組1】参加者数：52名 【取組2】掲載数：26校</p>			<p>【取組1】参加者数：52名 【取組2】掲載数：26校</p>				
<p>活動指標に対する実績 【活動指標】大学・企業関係者による講演・意見交換会（年1回以上）</p>			<p>大学・企業関係者による講演・意見交換会：1回以上</p>			<p>大学・企業関係者による講演・意見交換会：1回以上</p>				
<p>自己評価基準：対到達目標※</p>			<p>4</p>			<p>4</p>				
<p>自己評価基準：対継続性※</p>			<p>4</p>			<p>4</p>				
事業収支	収入	426,000円	支出	181,388円	収支	244,612円	支出	426,000円	収支	0円

理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）

リカレントフォーラムにおいて、企業・大学・行政の多様な立場から意見交換を行い、課題解消の可能性を見いだせた点は高く評価できる。また、兵庫県からも県内大学におけるリカレント教育推進への寄与が期待されていることを踏まえ、今後もさまざまなステークホルダーと加盟校が連携し、リカレント教育の一層の普及に努めていただきたい。

※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 2：当初計画をやや下回った	3：当初計画を達成 1：当初計画を下回った	※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 2：本プログラムの継続には改善が必要	3：本プログラムは継続しても良い 1：本プログラムは中止すべき
---------------	--------------------------------	--------------------------	--------------	--------------------------------------	------------------------------------

【2025年度 企画運営委員会（⑨取組1-1）】「兵庫県」大学生等インターンシップ推進事業～テーマ型企業理解プログラム～

事業計画（4月記載）			自己評価（12月記載）			事業報告（3月記載）				
<p>兵庫県労政福祉課委託事業 「令和7年度大学生等インターンシップ推進事業（テーマ型企業理解プログラム）」 委託期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日 本プログラムを通して、大学2～3年生を中心とした学生が、特定のテーマのもと就業体験を行い、兵庫県内企業や地場産業の魅力を深く理解することを目的とする。受託・運営する業務内容は以下の通り。</p> <p>(1) 連絡協議会への参画 関係機関（県、神戸市、労働局、商工会議所、県工業会、県経営者協会、県内の大学等で構成する団体等）による情報交換会に参画し、事業の円滑な運営を図るとともに、中小企業の人材確保方策を検討する。</p> <p>(2) インターンシップ実施に向けた準備 ① 座学・就業体験を含む数日～5日程度で実施 ② 大学や企業と調整のうえ、テーマごとにコースの作成（地場産業型、業界型、観光型、地域型等） ③ 大学等に対し学生が当事業へ参加できるよう調整を実施 ④ 協力機関（産地組合や金融機関等）と連携したインターンシップ受入企業の開拓</p> <p>(3) インターンシップの運営 ① 効果的な体験実習が行えるよう、就業体験初日に事前学習を実施 ② アンケート等、参加学生に実習で学んだことを整理し、今後の職業選択等に役立てるための振り返りを実施</p> <p>(4) その他 インターンシップ事業の推進に必要な業務を行う。</p>			<p>兵庫県産業労働部労政福祉課委託事業 「令和7年度大学生等インターンシップ推進事業（テーマ型企業理解プログラム）」</p> <p>&lt;活動内容&gt; 下記5コースにて実施(継続中、実施予定含む) ①神戸学院大学×清酒 ・実施期間：2025年4月11日～2025年8月30日／2026年2月8日 ・受入企業：菊正宗酒造株式会社、沢の鶴株式会社、株式会社神戸酒心館、白鶴酒造株式会社（計4社） ・参加学生数：18名 ②関西国際大学×地域グルメ ・実施期間：2025年8月22日～2025年11月8日 ・受入企業：エム・シーシー食品株式会社、カネテツデリカフーズ株式会社、富永貿易株式会社、株式会社ロック・フィールド、六甲バター株式会社（計5社） ・参加学生数：20名 ③兵庫県立大学・コンソ加盟校×モノづくり企業 ・実施期間：2025年8月25日～2025年8月29日 ・受入企業：TOA株式会社、日工株式会社、バンドー化学株式会社、古野電気株式会社（計4社） ・参加学生数：11名 ④兵庫県立大学・コンソ加盟校×ICT企業 ・実施期間：2025年9月9日、10日 ・受入企業：株式会社神戸デジタル・ラボ、株式会社スクラムサイン、株式会社ワイドソフトデザイン、株式会社オプティム、ベタビット株式会社、アイクラフト株式会社（計6社） ・参加学生数：5名（※COPLIからの参加学生数：加盟校6名、加盟校外17名） ⑤大手前大学×観光スイーツ（短期型） ・実施期間：2026年1月16日、28日 ※予定 ・受入企業：株式会社あみだ池大黒、株式会社ディーシーエス、株式会社ユーハイム（計3社）</p> <p>&lt;自己評価&gt; 兵庫県内企業と大学それぞれの特色を生かし、多様なプログラムを展開することができた。学生を対象とした事後アンケートでは、いずれのコースにおいても「業界・企業理解が向上した」と回答した学生が100%に達し、プログラム全体の満足度についても「非常に満足」または「満足」との回答が96%を占めた。これらの結果から、企業理解やキャリア意識の向上に寄与したことが示された。また、今年度、神戸学院大学・株式会社Clear・清酒業界で実施した、「企業課題解決プログラム」との連動を今後も継続し、双方のプログラムをさらに発展させていく。</p>			<p>兵庫県産業労働部労政福祉課委託事業 「令和7年度大学生等インターンシップ推進事業（テーマ型企業理解プログラム）」</p> <p>&lt;活動内容&gt; 下記5コースにて実施 ①神戸学院大学×清酒 ・実施期間：2025年4月11日～2025年8月30日／2026年2月1日、8日、20日 ・受入企業：菊正宗酒造株式会社、沢の鶴株式会社、株式会社神戸酒心館、白鶴酒造株式会社（計4社） ・参加学生数：18名 ②関西国際大学×地域グルメ ・実施期間：2025年8月22日～2025年11月8日 ・受入企業：エム・シーシー食品株式会社、カネテツデリカフーズ株式会社、富永貿易株式会社、株式会社ロック・フィールド、六甲バター株式会社（計5社） ・参加学生数：20名 ③兵庫県立大学・コンソ加盟校×モノづくり企業 ・実施期間：2025年8月25日～2025年8月29日 ・受入企業：TOA株式会社、日工株式会社、バンドー化学株式会社、古野電気株式会社（計4社） ・参加学生数：11名 ④兵庫県立大学・コンソ加盟校×ICT企業 ・実施期間：2025年9月9日、10日 ・受入企業：株式会社神戸デジタル・ラボ、株式会社スクラムサイン、株式会社ワイドソフトデザイン、株式会社オプティム、ベタビット株式会社、アイクラフト株式会社（計6社） ・参加学生数：5名（※COPLIからの参加学生数：加盟校6名、加盟校外17名） ⑤大手前大学×観光スイーツ（短期型） ・実施期間：2026年1月16日、28日 ※予定 ・受入企業：株式会社あみだ池大黒、株式会社ディーシーエス、株式会社ユーハイム（計3社） ・参加学生数：18名</p> <p>&lt;報告&gt; 最終コースとなった大手前大学での観光スイーツプログラムを完了し、全5コースを通じた事業が終了した。参加学生のアンケートでは「業界・企業理解が向上した」との回答が98%となり、プログラム全体の満足度についても「非常に満足」または「満足」との回答が94%となり、高評価であった。兵庫県産業労働部労政福祉課からの新規委託事業として大学・企業間の連携を強化し、次年度以降の継続実施に向けた基盤を整えることができたことは、大きな成果であると考えている。引き続き、加盟校と産業界との連携を多角化し、より実効性のある取り組みとしていきたい。</p>				
<p>達成目標に対する実績 【達成目標】（取組1-1、1-2合わせて） ・大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充 ・参加者数50名以上/年</p>			<p>参加者数：54名 (10月31日現在)</p>			<p>参加者数：72名</p>				
<p>活動指標に対する実績 【活動指標】（取組1-1、1-2合わせて） ・大学・企業関係者による意見交換会（年1回以上）</p>			<p>大学・企業関係者による意見交換会：1回以上</p>			<p>大学・企業関係者による意見交換会：1回以上</p>				
自己評価基準：対到達目標※			4			4				
自己評価基準：対継続性※			4			4				
事業収支	収入	4,583,000円	支出	2,502,616円	収支	2,080,384円	支出	4,583,000円	収支	0円

理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）

兵庫県内企業や大学の特性を生かした複数のプログラムを展開し、学生の地域企業・業界への理解を深め、キャリア意識の向上に貢献できた点は評価できる。今後も、加盟校と賛助会員をはじめとする企業との連携を一層拡充させる取組として発展させていただきたい。

※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った	※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき
---------------	--	--------------	--

【2025年度 企画運営委員会（⑨取組1-2）】第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

事業計画（4月記載）			自己評価（12月記載）			事業報告（3月記載）				
<p>「第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」の開催 2024年度より、企画運営委員会を中心に、理事会・各事業委員会にて検討・決定した内容をもとに、引き続き、様々な大学の意見を取り入れ、加盟校全体を巻き込みながら、他エリアのコンソーシアムや大学への周知を図る場を創出する。</p> <p>●実施概要 開催日：2025年 8月30日（土）・31日（日） 会場：神戸学院大学 ポートアイランド第1キャンパス 共催：全国大学コンソーシアム協議会、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 協力：神戸学院大学（会場校）</p> <p>●テーマ 「激変する将来社会を切り拓く新たな人材の育成にむけて～不易流行で考える大学間連携と産官学協働～」</p> <p>●スケジュール &lt;8月30日（土）午前&gt; ・加盟校教職員向けSDワークショップ ・キャリア・リカレント職員向けプログラム 「ライフロングキャリア」共創セッション</p> <p>&lt;8月30日（土）午後&gt; ・シンポジウム ・加盟校によるパネル展示 「兵庫から発信する大学間連携や産官学連携」 ・ポスターセッション ・学生ステージ ・情報交換会</p> <p>&lt;8月31日（日）午前&gt; ・分科会</p>			<p>「第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」の開催 &lt;活動内容&gt; ・開催日：2025年 8月30日（土）・31日（日） ・内容： 8月30日（土）午前 ①加盟校教職員向けSDワークショップ ②「ライフロングキャリア」共創セッション 8月30日（土）午後 ①シンポジウム「大学間連携と地域共創～社会変革期におけるコンソーシアムの可能性～」 ②ポスターセッション（出展団体：11団体） ③パネル展示（出展校・団体：14校1団体） ④情報交換会 8月31日（日）午前 分科会 ・参加者合計：461名（内訳：シンポジウム 334名、情報交換会 241名、分科会 131名、SDワークショップ 58名、ライフロングキャリア共創セッション 52名） ・加盟校からの参画 ①学生ステージ：芦屋大学、流通科学大学 ②司会：甲南大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸松蔭大学、神戸親和大学 ③パネル展示：関西国際大学、甲南大学、明石工業高等専門学校、大手前大学、関西国際大学、関西学院大学、甲南大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸松蔭大学、神戸親和大学、兵庫大学、兵庫教育大学、兵庫県立大学、流通科学大学 ④分科会：（第3分科会）神戸学院大学 ・アンケート結果 ①回答数：1日目（8月30日）：参加者334名中68件回答（回答率20.4%） 2日目（8月31日）：参加者131名中62件回答（回答率47.3%） ②主なプログラムの参加満足度 シンポジウム（回答66件）「満足・やや満足」計63件 肯定的評価 95.5% 情報交換会（回答49件）「満足・やや満足」計44件 肯定的評価 89.8% 分科会（回答62件）「満足・やや満足」計62件 肯定的評価 100%</p> <p>&lt;自己評価&gt; 第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの開催にあたり、加盟校だけでなく、兵庫県や地域企業とも連携して企画・運営することができた。自治体からも多数の参加があり、地域連携や教育の在り方について多様な立場から意見交換が行われ、今後のコンソーシアムの活動の広がりにつながる貴重な機会となった。シンポジウムでは大学の地域連携やAI時代の教育の在り方について多角的な議論が交わされ、情報交換会やポスターセッション・パネル展示においても活発な交流が見られた。また、学生によるステージや司会進行等の活躍もあり、全体を通じて今後の大学間連携・産官学協働を考えるうえで意義深い場となった。</p>			<p>「第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」の開催 &lt;活動内容&gt; ・開催日：2025年 8月30日（土）・31日（日） ・内容： 8月30日（土）午前 ①加盟校教職員向けSDワークショップ ②「ライフロングキャリア」共創セッション 8月30日（土）午後 ①シンポジウム「大学間連携と地域共創～社会変革期におけるコンソーシアムの可能性～」 ②ポスターセッション（出展団体：11団体） ③パネル展示（出展校・団体：14校1団体） ④情報交換会 8月31日（日）午前 分科会 ・参加者合計：461名（内訳：シンポジウム 334名、情報交換会 241名、分科会 131名、SDワークショップ 58名、ライフロングキャリア共創セッション 52名） ・加盟校からの参画 ①学生ステージ：芦屋大学、流通科学大学 ②司会：甲南大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸松蔭大学、神戸親和大学 ③パネル展示：関西国際大学、甲南大学、明石工業高等専門学校、大手前大学、関西国際大学、関西学院大学、甲南大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸松蔭大学、神戸親和大学、兵庫大学、兵庫教育大学、兵庫県立大学、流通科学大学 ④分科会：（第3分科会）神戸学院大学 ・アンケート結果 ①回答数：1日目（8月30日）：参加者334名中68件回答（回答率20.4%） 2日目（8月31日）：参加者131名中62件回答（回答率47.3%） ②主なプログラムの参加満足度 シンポジウム（回答66件）「満足・やや満足」計63件 肯定的評価 95.5% 情報交換会（回答49件）「満足・やや満足」計44件 肯定的評価 89.8% 分科会（回答62件）「満足・やや満足」計62件 肯定的評価 100%</p> <p>&lt;報告&gt; 第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの開催を通じて、加盟校のみならず、兵庫県内の自治体や地域企業との連携を一層深めることができた。とりわけ、本フォーラムに参加した自治体の一部が新たに自治体会員として参画するに至り、当コンソのネットワーク拡充という具体的な成果につながった点は大きな意義があった。また、今回参加に至らなかった自治体に対しても、参加募集の段階で積極的な声掛けを行ったことで新たな接点生まれ、今後の会員拡大に向けた基盤づくりにも寄与した。</p>				
<p>達成目標に対する実績 【達成目標】（取組1-1、1-2合わせて） ・大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充 ・参加者数50名以上/年</p>			参加者数：461名			参加者数：461名				
<p>活動指標に対する実績 【活動指標】（取組1-1、1-2合わせて） ・大学・企業関係者による意見交換会（年1回以上）</p>			大学・企業関係者による意見交換会：1回以上			大学・企業関係者による意見交換会：1回以上				
自己評価基準：対到達目標※			4			4				
自己評価基準：対継続性※			4（※「全国コンソ」での継続ではなく、産官学連携の場としての継続として）			4（※「全国コンソ」での継続ではなく、産官学連携の場としての継続として）				
事業収支	収入	1,630,000円	支出	1,353,923円	収支	276,077円	支出	1,353,923円	収支	276,077円

理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）

「全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」において、自治体や地域企業、学生を含む多様な主体と連携しながら企画・運営を遂行した点は高く評価できる。シンポジウムや交流企画では活発な議論と意見交換が行われ、地域連携および大学間協働の可能性を広げる有意義な場となったことが認められる。本取組で得られた知見やネットワークを、今後の事業展開に的確に活かしていくことを期待する。

※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った	※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき
---------------	--	--------------	--

【2025年度 企画運営委員会（⑨取組2）】賛助会員と加盟校の懇親会、企業課題解決プログラム、リスクマネジメント等

事業計画（4月記載）			自己評価（12月記載）			事業報告（3月記載）					
<p>(1)大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 兵庫県下における大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制について意見交換を行う。加盟校がすでに有している大学間連携・地域・地方自治体との連携体制の理解促進も図る。</p> <p>今年度も引き続き、以下において定期的に意見交換を行う。 ・企画運営委員会での懇談 ・産官学連携協議会での懇談 ・兵庫県・兵庫県中小企業家同友会・兵庫県商工会連合会・兵庫県中小企業団体中央会との意見交換 ・賛助会員企業・団体との懇親 ・「企業課題解決プログラム」の実施</p> <p>(2)緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築 感染症（新型コロナウイルス感染症等）や災害対応等、災害・緊急事態対応等の不測の事態に備えて、リスクに関する情報交換会を開催し、具体的な運用について議論する。</p>			<p>&lt;活動内容&gt; (1)大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 ・企画運営委員会での懇談（8回） 開催実績：①4月11日、②5月16日、③6月24日、④7月29日、⑤8月22日、⑥9月26日、⑦10月21日 ・産官学連携協議会での懇談（2回） 開催実績：①8月29日（メール審議）②10月28日 ・兵庫県・兵庫県中小企業家同友会・兵庫県商工会連合会・兵庫県中小企業団体中央会との意見交換 開催実績：7月16日 共同IR「学生生活に関する意識調査」の分析結果について意見交換 ・賛助会員企業・団体との懇親（1回） 開催実績：8月30日 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム情報交換会 ・「企業課題解決プログラム」の実施 2024年度からの継続案件：3社3課題 2025年度新規案件：31課題、うち17課題成立、16社9大学1高専 発表の機会：シンキッズフェスティバル（10月13日） 中小企業診断士協会ビジネスプランコンテスト（11月8日）</p> <p>(2)緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築 ・第2回ひょうご産官学連携協議会（10月28日） （災害救済ボランティア活動支援関係団体連絡会議について報告） ・第3回ひょうご産官学連携協議会（3月27日開催予定）</p> <p>&lt;自己評価&gt; 企画運営委員会およびひょうご産官学連携協議会において、加盟校・自治体・産業界と意見交換を行い、相互の連携を深めた。また、全国コンソーシアム研究交流フォーラムでは、「ライフロングキャリア」共創セッションや情報交換会など、幅広い交流の機会を創出し、今後の活動展開に向けた基盤づくりにつながった。3年目を迎えた「企業課題解決プログラム」については、現在、17課題に9大学1高専が取り組んでおり、昨年度（12課題8大学）を上回る規模となっている。取組の成果を外部に向けて発表する機会を設けたことで、学生が実践的に学ぶ機会が広がり、具体的な成果につながっていると考える。</p>			<p>&lt;活動内容&gt; (1)大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 ・企画運営委員会での懇談（8回） 開催実績：①4月11日、②5月16日、③6月24日、④7月29日、⑤8月22日、⑥9月26日、⑦10月21日、⑧11月28日、⑨12月23日、⑩1月23日（メール審議）、⑪2月25日、⑫3月10日（メール審議） ・産官学連携協議会での懇談（2回） 開催実績：①8月29日（メール審議）、②10月28日、③3月27日 ・兵庫県・兵庫県中小企業家同友会・兵庫県商工会連合会・兵庫県中小企業団体中央会との意見交換 開催実績：①7月16日 共同IR「学生生活に関する意識調査」の分析結果について意見交換、②12月3日 各事業委員会の活動について意見交換 ・賛助会員企業・団体との懇親（1回） 開催実績：①8月30日 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム情報交換会、②2月16日 大学キャリアと人事担当者等との情報交換会・懇親会 ・「企業課題解決プログラム」の実施 2024年度からの継続案件：3社3課題（計3取組み） 2025年度新規案件：31課題、うち17課題成立、16社9大学1高専（計22取組み）</p>					
<p>達成目標に対する実績 【達成目標】・緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築 ・参加校・団体数 10校・団体以上/年</p>			<p>参加校・団体数：37校・団体</p>			<p>参加校・団体数：37校・団体</p>					
<p>活動指標に対する実績 【活動指標】大学・企業関係者による意見交換会（年1回以上）</p>			<p>大学・企業関係者による意見交換会：1回以上</p>			<p>大学・企業関係者による意見交換会：1回以上</p>					
<p>自己評価基準：対到達目標※</p>			<p>4</p>			<p>4</p>					
<p>自己評価基準：対継続性※</p>			<p>4</p>			<p>4</p>					
事業収支	収入	1,000,000円	支出	0円	収支	1,000,000円	支出	92,931円	収支	907,069円	
<p>※「3/27リスクに関する情報交換会」にて、謝金として支出予定、それに伴い支払手数料も発生予定</p>											
<p>理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）</p>											
<p>各種委員会やフォーラム等の機会を通じて、加盟校・自治体・産業界との連携を着実に深めている。企業課題解決プログラムにおいても、参画校や企業の広がりを図りつつ、実践的な学びの場の創出に取り組んだことは意義深い。今後も、これらの取組を発展的に活用し、より質の高い連携活動へとつなげていくことを期待したい。また、緊急時におけるリスクマネジメントについても、実効性の高い体制の構築について検討いただきたい。</p>											
<p>※自己評価基準：対到達目標</p>			<p>4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った</p>			<p>※自己評価基準：対継続性</p>			<p>4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき</p>		

【2025年度 企画運営委員会（⑩取組1）】加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進

事業計画（4月記載）		自己評価（12月記載）		事業報告（3月記載）						
<p>加盟校がコンソーシアム活動に積極的に参加できる事業運営体制の構築に向け、2024年度は、加盟校の多様な意見と知見を活かし、事業の発展と安定的な運営体制の確立を目的として、①2025年兵庫県開催の全国コンソ検討、②コンソ事業の安定化に向けた会員・会費制度の検討、③リスクマネジメント・リカレント検討、の3つのワーキンググループを設置。各WGでは課題の解決策を検討し、今後の事業発展に向けた具体的な取り組みを進めた。</p> <p>また、2023年度に実施した加盟校教職員アンケートの結果を受け、学内業務の効率化を図るため、教職員募集情報のコンソーシアムHPへの一元化を実施するなど学内業務の効率化に向け、加盟校間での情報共有を強化した。</p> <p>2025年度は、これまでの取り組みを踏まえ、引き続き以下の施策を実施する。</p> <p>●事業運営の効率化、プロセスの可視化や情報管理・共有の充実を図る。                      ・HP：加盟校専用ページ                      各事業委員会活動や中長期計画Ⅱ期のロードマップの共有化                      ・HP：トップページ                      加盟校の公開講座等のイベント情報を随時更新                      ・note                      事業委員会活動の実施報告、加盟校学生の地域活性化に関わる取組広報                      ・SNS（Facebook・X・Instagram）                      事業委員会活動の案内                      ・メルマガ配信                      加盟校教職員に月1回情報発信                      ・加盟校学生や教職員へのアンケートの実施                      アンケートの集計後、分析結果等の加盟校への共有</p> <p>●企画運営委員会（原則、月1回開催）                      なお、小グループでの課題の共有、プロジェクト型での事業推進についても加盟校等からのニーズがあれば、企画運営委員会において検討し、対応する。</p>		<p>●事業運営の効率化・情報共有の充実                      &lt;活動内容&gt;                      ・HP（加盟校専用ページ）：各事業委員会活動や中長期計画Ⅱ期ロードマップを共有し、加盟校間での情報共有を強化した。                      ・HP（トップページ）：加盟校の公開講座等のイベント情報を随時更新                      「加盟校からのお知らせ」掲載件数：33件                      ・note：事業委員会活動の実施報告や、学生による地域活性化の取組を広報                      投稿件数：31件                      ・SNS（Facebook・X・Instagram）：事業委員会活動の案内を発信                      投稿件数：Facebook 54件、X 4件、Instagram 68件                      ・メルマガ配信：加盟校教職員に月1回の情報発信を実施                      配信回数：7回                      ・アンケート実施：加盟校学生を対象にアンケート「学生生活に関する意識調査」を実施し、集計・分析結果を加盟校へ共有した。                      実施期間：2025年5月19日～2025年6月20日                      回答者数：加盟校25校の学生1,741人                      アンケート結果から、学生生活の実態や当コンソーシアムの認知度、主催イベントに対する関心、単位互換制度の課題などが確認された。</p> <p>●企画運営委員会（原則、月1回開催）                      2024年度のWGでの論議を受けて、自治体会員・協会員制度の新設に伴う定款の見直し、および賛助会員会費規程の改定や、全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの運営、タイプ3申請、「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」への申請検討、2026・2027年度の事業委員会の正副委員長校の調整、自治体との連携、共同IR見直しなど、コンソーシアム事業の活性化・安定化に向けて、幅広いテーマについて活発な意見交換を行い、対応策を検討した。</p> <p>&lt;自己評価&gt;                      HPやSNS、メルマガを活用した情報発信を継続し、加盟校間の連携強化と情報共有の充実を図った。企画運営委員会では多様なテーマについて活発な意見交換が行われ、事業運営体制の活性化に寄与した。学生アンケートからは、コンソーシアム活動や単位互換制度の認知度向上に向けた課題が明確となり、その対応としてInstagramのリニューアルや学生を対象とした単位互換制度ポスターデザインコンペを実施した。今後も周知・広報の一層の充実を目指す。</p>		<p>●事業運営の効率化・情報共有の充実                      &lt;活動内容&gt;                      ・HP（加盟校専用ページ）：各事業委員会活動や中長期計画Ⅱ期ロードマップを共有し、加盟校間での情報共有を強化した。                      ・HP（トップページ）：加盟校の公開講座等のイベント情報を随時更新                      「加盟校からのお知らせ」掲載件数：49件                      ・note：事業委員会活動の実施報告や、学生による地域活性化の取組を広報                      投稿件数：66件                      ・SNS（Facebook・X・Instagram）：事業委員会活動の案内を発信                      投稿件数：Facebook 91件、X 4件、Instagram 101件                      ・メルマガ配信：加盟校教職員に月1回の情報発信を実施                      配信回数：12回                      ・アンケート実施：加盟校学生を対象にアンケート「学生生活に関する意識調査」を実施し、集計・分析結果を加盟校へ共有した。                      実施期間：2025年5月19日～2025年6月20日                      回答者数：加盟校25校の学生1,741人                      アンケート結果から、学生生活の実態や当コンソーシアムの認知度、主催イベントに対する関心、単位互換制度の課題などが確認された。</p> <p>●企画運営委員会（原則、月1回開催）                      2024年度のWGでの論議を受けて、自治体会員・協会員制度の新設に伴う定款の見直し、および賛助会員会費規程の改定や、全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの運営、タイプ3申請、「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」への申請検討、2026・2027年度の事業委員会の正副委員長校の調整、自治体との連携、共同IR見直し、「コンソ設立20周年記念式典」の開催検討、兵庫県からの新規受託事業「大学生向けWLB認定企業の魅力発信強化事業」など、コンソーシアム事業の活性化・安定化に向けて、幅広いテーマについて活発な意見交換を行い、対応策を検討した。</p> <p>&lt;報告&gt;                      本年度はHPやSNS、メルマガの多角的な活用により、加盟校間の連携強化と迅速な情報共有を実施した。また、企画運営委員会での多様なテーマに関する論議は、組織運営の活性化に寄与したと考える。さらに学生アンケート結果への対応として、Instagramのリニューアルや学生対象の単位互換制度ポスターデザインコンペを実施し、当事者支店を取り入れた広報に取り組んだ。改善提案を踏まえて、今後は、これらの施策の効果検証を実施し、情報発信の質的向上を通じてコンソの活動の価値を多くのステークホルダーに浸透させていく。</p>						
<p><b>達成目標に対する実績</b>                      【達成目標】・加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築                      ・アンケートの実施 1回以上/年</p>		<p>アンケートの実施：年1回実施</p>		<p>アンケートの実施：年1回実施</p>						
<p><b>活動指標に対する実績</b>                      【活動指標】企画運営委員会等における懇談の実施（年10回以上）</p>		<p>企画運営委員会等における懇談の実施：年7回実施                      （10月31日現在）</p>		<p>企画運営委員会等における懇談の実施：年12回実施</p>						
<p>自己評価基準：対到達目標※</p>		<p>4</p>		<p>4</p>						
<p>自己評価基準：対継続性※</p>		<p>4</p>		<p>4</p>						
事業収支	収入	500,000円	支出	0円	収支	500,000円	支出	120,569円	収支	379,431円

理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）

情報発信の強化や委員会での活発な意見交換を通じて、加盟校が活性化する事業運営体制の整備・推進に着実に寄与した点は評価できる。また、学生アンケート結果を踏まえた広報施策の改善も適切と考える。今後も効果的な周知を進め、運営体制のさらなる充実につなげていくことを期待する。

<p>※自己評価基準：対到達目標</p>	<p>4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成                      2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った</p>	<p>※自己評価基準：対継続性</p>	<p>4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い                      2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき</p>
----------------------	---	---------------------	---

【2025年度 企画運営委員会 事業決算】

(単位：円)

	予算	決算	各取組 予算															
			㊸取組1・2			㊹取組1-1			㊹取組1-2			㊹取組2			㊺取組1			
			県内大学を活用した 社会人の学び直しの推進			大学資源を活用する地域プラットフォームの形成						加盟校が活性化する 事業運営体制の整備						
						兵庫県受託事業 「テーマ型企業理解プログラム」			全国大学コンソーシアム 研究交流フォーラム			懇親会・企業課題P・ リスクマネジメント						
			内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	
収入	会費収入	1,500,000	1,500,000											1,000,000	1,000,000		500,000	500,000
	助成事業収入	0	0															
	受託事業収入	5,009,000	5,009,000		426,000	426,000		4,583,000	4,583,000									
	プログラム収入	2,300,000	1,330,000							2,300,000	1,330,000							
	雑収入	0	300,000								300,000							
	戻入金	0	0															
	計	8,809,000	8,139,000		426,000	426,000		4,583,000	4,583,000		2,300,000	1,630,000		1,000,000	1,000,000		500,000	500,000
支出	会議費	1,200,000	787,542							弁当・情報交換会	800,000	785,646	イベント飲料	400,000	1,896			
	旅費交通費	382,000	365,436	交通費	40,000	10,430	交通費	172,000	302,056	講師交通費	120,000	31,360	交通費	50,000	21,290	交通費	300	
	通信運搬費	243,600	69,074	通信費・送料等	80,000	69,074		138,600			25,000							
	消耗品費	148,600	23,121	事務用品	10,000	17,001		138,600		胸章		6,120						
	新聞図書費	50,000	0							50,000								
	印刷製本費	1,413,300	432,146	全国コンソパンフレット		144,000	パンフレット・名刺	113,300	133,710	包装用シール	600,000	3,682	パンフレット	300,000	31,145	資料・Instagramカード	400,000	119,609
	光熱水料費	0	0															
	賃借料	587,900	228,397		20,000		貸切バス	262,900	185,497	冷蔵庫	155,000	42,900		150,000				
	保険料	0	0															
	謝金	469,500	689,900	謝金	120,000	25,000	謝金	49,500	236,400	謝金	250,000	401,000	謝金	50,000	27,500			
	租税公課	200	0		200													
	支払手数料	5,800	17,215	振込手数料	5,800	495	振込手数料		7,700	振込手数料		6,215	振込手数料		1,815	振込手数料		990
	諸会費	0	0															
	委託費	300,000	189,500							関西弁講座	150,000	77,000	パンフレット改訂	50,000	30,000	Instagram運用	100,000	82,500
	人件費	3,858,100	3,877,637	人件費	150,000	160,000	人件費	3,708,100	3,717,637									
	接待交際費	0	0															
	支払支援金	0	0															
	雑費	150,000	0								150,000							
	計	8,809,000	6,679,968		426,000	426,000		4,583,000	4,583,000		2,300,000	1,353,923		1,000,000	113,646		500,000	203,399

収入－支出	1,459,032
-------	-----------